

数学科 1学年 年間指導計画

月	単元	節	内容	小計	時間	累計	関	考	表	知	指導の要点	作業を重視した授業について
4	正負の数	正負の数	符号のついた数	4	2	2	○			○	これまでの経験や日常生活と関連づけ、負の数が使われている場面と結びつける。また負の数の必要性を認識し、数の拡張を通して、これまで成り立っていた計算法則(交換法則・結合法則・分配法則)を見直す。今後、文字と式・方程式など実際の計算場面で正負の数の計算を繰り返し行い計算の習熟を図ることができるので、扱い方を簡単にする。	ノートの罫線を利用して、紙の帯を3等分するにはどうしたらよいかという課題を考えることから、乗法の仕組みを考え、捉え直させる。
			数の大小		2	4				○		
5	23	加法と減法	加法	7	2	6				○	文字式で表すこと、文字式をよむこと、形式的に処理すること、簡単にした答を解釈することを個別に区切って指導するのではなく、1つの問題場面の中で一連の流れとして扱うことにより、文字式のよさを感じとらせる。文字式を数学の言語としてとらえさせ、文字式を使って考えることができるよう指導する。	・マッチ棒の問題・おはじきの問題・基石の問題など一般化するとき計算しないでその数をそのまま残しておくことで変数的な考えを育てる問題を行う。その際、多様な解決方法を出させ、生徒の様々な思考を表出させる。
			減法		2	8				○		
			加法と減法の混じった計算		3	11				○		
			乗法と除法	9	2	13	☆			○		
			除法		2	15				○		
			四則の混じった計算		2	17				○		
6	文字と式	文字を使った式	乗法と除法		2	19				○	方程式	・問題づくりを行い、生徒それぞれが作った問題を解き合う。問題づくりをするときに数学的な考え方を意識させる。
			正負の数の利用		2	21				○		
7	13	章のまとめ・自己評価	数の範囲と四則	1	1	20				○	方程式	・問題づくりを行い、生徒それぞれが作った問題を解き合う。問題づくりをするときに数学的な考え方を意識させる。
			問題演習・小テスト		1	21				○		
8	文字と式	文字を使った式	文字の使用	5	2	25	☆	○	○		1次方程式	日常の事象にある2量を取り出し、その変化や対応を調べることを通して、比例・反比例の関係を見だし、表現し考察する能力を伸ばす。単に比例・反比例を式で表し、グラフで表すことに終始するのではなく、比例として見ることによって日常の問題を解決するという経験をさせる。比例を使って問題を解く(数学を活用する)という態度を養う。
			文字を使った式の表し方		2	27				○		
9	7	章のまとめ・自己評価	代入と式の値		1	28				○	1次方程式の利用	日常の事象にある2量を取り出し、その変化や対応を調べることを通して、比例・反比例の関係を見だし、表現し考察する能力を伸ばす。単に比例・反比例を式で表し、グラフで表すことに終始するのではなく、比例として見ることによって日常の問題を解決するという経験をさせる。比例を使って問題を解く(数学を活用する)という態度を養う。
			1次式の計算	5	3	31				○		
10	反比例	比例	文字を使った公式		2	33				○	反比例	日常の事象にある2量を取り出し、その変化や対応を調べることを通して、比例・反比例の関係を見だし、表現し考察する能力を伸ばす。単に比例・反比例を式で表し、グラフで表すことに終始するのではなく、比例として見ることによって日常の問題を解決するという経験をさせる。比例を使って問題を解く(数学を活用する)という態度を養う。
			問題演習・小テスト		1	34				○		
11	15	章のまとめ・自己評価	比と比例式		1	48	☆	○	○		比例と反比例の利用	日常の事象にある2量を取り出し、その変化や対応を調べることを通して、比例・反比例の関係を見だし、表現し考察する能力を伸ばす。単に比例・反比例を式で表し、グラフで表すことに終始するのではなく、比例として見ることによって日常の問題を解決するという経験をさせる。比例を使って問題を解く(数学を活用する)という態度を養う。
			問題演習・小テスト		1	49				○		
12	17	章のまとめ・自己評価	関数	7	1	52				○	比例と反比例の利用	日常の事象にある2量を取り出し、その変化や対応を調べることを通して、比例・反比例の関係を見だし、表現し考察する能力を伸ばす。単に比例・反比例を式で表し、グラフで表すことに終始するのではなく、比例として見ることによって日常の問題を解決するという経験をさせる。比例を使って問題を解く(数学を活用する)という態度を養う。
			比例する量		2	54				○		
13	反比例	反比例	座標		2	56				○	反比例	日常の事象にある2量を取り出し、その変化や対応を調べることを通して、比例・反比例の関係を見だし、表現し考察する能力を伸ばす。単に比例・反比例を式で表し、グラフで表すことに終始するのではなく、比例として見ることによって日常の問題を解決するという経験をさせる。比例を使って問題を解く(数学を活用する)という態度を養う。
			比例のグラフ		2	58				○		
14	17	章のまとめ・自己評価	反比例のグラフ		1	61				○	比例と反比例の利用	日常の事象にある2量を取り出し、その変化や対応を調べることを通して、比例・反比例の関係を見だし、表現し考察する能力を伸ばす。単に比例・反比例を式で表し、グラフで表すことに終始するのではなく、比例として見ることによって日常の問題を解決するという経験をさせる。比例を使って問題を解く(数学を活用する)という態度を養う。
			反比例の利用	3	2	60				○		
15	17	章のまとめ・自己評価	反比例のグラフ		1	61				○	比例と反比例の利用	日常の事象にある2量を取り出し、その変化や対応を調べることを通して、比例・反比例の関係を見だし、表現し考察する能力を伸ばす。単に比例・反比例を式で表し、グラフで表すことに終始するのではなく、比例として見ることによって日常の問題を解決するという経験をさせる。比例を使って問題を解く(数学を活用する)という態度を養う。
			比例の利用	5	1	62	☆			○		
16	17	章のまとめ・自己評価	比例の利用		4	66	☆			○	比例と反比例の利用	日常の事象にある2量を取り出し、その変化や対応を調べることを通して、比例・反比例の関係を見だし、表現し考察する能力を伸ばす。単に比例・反比例を式で表し、グラフで表すことに終始するのではなく、比例として見ることによって日常の問題を解決するという経験をさせる。比例を使って問題を解く(数学を活用する)という態度を養う。
			問題演習・小テスト		1	67				○		
17	17	章のまとめ・自己評価	問題演習・小テスト		1	68				○	比例と反比例の利用	日常の事象にある2量を取り出し、その変化や対応を調べることを通して、比例・反比例の関係を見だし、表現し考察する能力を伸ばす。単に比例・反比例を式で表し、グラフで表すことに終始するのではなく、比例として見ることによって日常の問題を解決するという経験をさせる。比例を使って問題を解く(数学を活用する)という態度を養う。
			問題演習・小テスト		1	69				○		
18	17	章のまとめ・自己評価	関数の性質	7	3	71	☆	○	○		平面図形	小学校で習ってきた基本図形を線対称・点対称の視点で見直すことができる。図形についての豊かな経験をさせるため、実際に図を書いたり、作図をしたりということを多くさせる。線対称・点対称を原理として作図方法を考える。コンパス・定規などを積極的に道具として活用させる。
			円と対称		2	75				○		
19	17	章のまとめ・自己評価	作図のしかた	6	2	77				○	平面図形	小学校で習ってきた基本図形を線対称・点対称の視点で見直すことができる。図形についての豊かな経験をさせるため、実際に図を書いたり、作図をしたりということを多くさせる。線対称・点対称を原理として作図方法を考える。コンパス・定規などを積極的に道具として活用させる。
			いろいろな作図		2	79				○		
20	17	章のまとめ・自己評価	作図の利用		2	81				○	平面図形	小学校で習ってきた基本図形を線対称・点対称の視点で見直すことができる。図形についての豊かな経験をさせるため、実際に図を書いたり、作図をしたりということを多くさせる。線対称・点対称を原理として作図方法を考える。コンパス・定規などを積極的に道具として活用させる。
			平行移動、回転移動	2	2	83				○		
21	17	章のまとめ・自己評価	問題演習・小テスト		1	84				○	平面図形	小学校で習ってきた基本図形を線対称・点対称の視点で見直すことができる。図形についての豊かな経験をさせるため、実際に図を書いたり、作図をしたりということを多くさせる。線対称・点対称を原理として作図方法を考える。コンパス・定規などを積極的に道具として活用させる。
			問題演習・小テスト		1	85				○		
22	17	章のまとめ・自己評価	多面体	7	5	90	☆	○	○		空間図形	図形を観察、操作や実験などの作業を通して考察し、空間図形についての理解を深める。模型づくりなどを積極に行い、実際に立体を手にとりて考察する機会を多く与える。図形の計量についても計算方法を指導するだけでなく、図形を理解する一つの側面として位置づける。
			いろいろな立体		2	92				○		
23	17	章のまとめ・自己評価	いろいろな立体		2	94				○	空間図形	図形を観察、操作や実験などの作業を通して考察し、空間図形についての理解を深める。模型づくりなどを積極に行い、実際に立体を手にとりて考察する機会を多く与える。図形の計量についても計算方法を指導するだけでなく、図形を理解する一つの側面として位置づける。
			直線や平面の平行と垂直	4	1	93				○		
24	17	章のまとめ・自己評価	面の動き		1	94				○	空間図形	図形を観察、操作や実験などの作業を通して考察し、空間図形についての理解を深める。模型づくりなどを積極に行い、実際に立体を手にとりて考察する機会を多く与える。図形の計量についても計算方法を指導するだけでなく、図形を理解する一つの側面として位置づける。
			立体の展開図		1	95				○		
25	17	章のまとめ・自己評価	立体の投影図		1	96				○	空間図形	図形を観察、操作や実験などの作業を通して考察し、空間図形についての理解を深める。模型づくりなどを積極に行い、実際に立体を手にとりて考察する機会を多く与える。図形の計量についても計算方法を指導するだけでなく、図形を理解する一つの側面として位置づける。
			表面積	5	2	98				○		
26	17	章のまとめ・自己評価	体積		2	100				○	空間図形	図形を観察、操作や実験などの作業を通して考察し、空間図形についての理解を深める。模型づくりなどを積極に行い、実際に立体を手にとりて考察する機会を多く与える。図形の計量についても計算方法を指導するだけでなく、図形を理解する一つの側面として位置づける。
			球の表面積と体積		1	101				○		
27	17	章のまとめ・自己評価	問題演習・小テスト		1	102				○	空間図形	図形を観察、操作や実験などの作業を通して考察し、空間図形についての理解を深める。模型づくりなどを積極に行い、実際に立体を手にとりて考察する機会を多く与える。図形の計量についても計算方法を指導するだけでなく、図形を理解する一つの側面として位置づける。
			問題演習・小テスト		1	103				○		
28	17	章のまとめ・自己評価	度数分布表	7	4	108				○	資料の散らばりと代表値	・度数分布表やヒストグラム、度数折れ線、相対度数の必要性和意味を理解し、資料の傾向をよみとり、説明できる
			代表値		3	111				○		
29	17	章のまとめ・自己評価	近似値と有効数字	1	1	112				○	資料の散らばりと代表値	・範囲や代表値(平均値、メジアン、モード)の必要性和意味を理解し、資料の傾向をよみとり、説明できる。近似値や誤差の意味や $a \times 10^n$ の表し方について理解できる
			問題演習・小テスト		1	113				○		
30	17	章のまとめ・自己評価	度数分布表		4	116				○	資料の散らばりと代表値	・度数分布表やヒストグラム、度数折れ線、相対度数の必要性和意味を理解し、資料の傾向をよみとり、説明できる
			代表値		3	119				○		
31	17	章のまとめ・自己評価	近似値と有効数字		1	120				○	資料の散らばりと代表値	・範囲や代表値(平均値、メジアン、モード)の必要性和意味を理解し、資料の傾向をよみとり、説明できる。近似値や誤差の意味や $a \times 10^n$ の表し方について理解できる
			問題演習・小テスト		1	121				○		
32	17	章のまとめ・自己評価	度数分布表		4	124				○	資料の散らばりと代表値	・度数分布表やヒストグラム、度数折れ線、相対度数の必要性和意味を理解し、資料の傾向をよみとり、説明できる
			代表値		3	127				○		
33	17	章のまとめ・自己評価	近似値と有効数字		1	128				○	資料の散らばりと代表値	・範囲や代表値(平均値、メジアン、モード)の必要性和意味を理解し、資料の傾向をよみとり、説明できる。近似値や誤差の意味や $a \times 10^n$ の表し方について理解できる
			問題演習・小テスト		1	129				○		
34	17	章のまとめ・自己評価	度数分布表		4	132				○	資料の散らばりと代表値	・度数分布表やヒストグラム、度数折れ線、相対度数の必要性和意味を理解し、資料の傾向をよみとり、説明できる
			代表値		3	135				○		
35	17	章のまとめ・自己評価	近似値と有効数字		1	136				○	資料の散らばりと代表値	・範囲や代表値(平均値、メジアン、モード)の必要性和意味を理解し、資料の傾向をよみとり、説明できる。近似値や誤差の意味や $a \times 10^n$ の表し方について理解できる
			問題演習・小テスト		1	137				○		
36	17	章のまとめ・自己評価	度数分布表		4	140				○	資料の散らばりと代表値	・度数分布表やヒストグラム、度数折れ線、相対度数の必要性和意味を理解し、資料の傾向をよみとり、説明できる
			代表値		3	143				○		
37	17	章のまとめ・自己評価	近似値と有効数字		1	144				○	資料の散らばりと代表値	・範囲や代表値(平均値、メジアン、モード)の必要性和意味を理解し、資料の傾向をよみとり、説明できる。近似値や誤差の意味や $a \times 10^n$ の表し方について理解できる
			問題演習・小テスト		1	145				○		

☆印は作業を重視した授業を行う予定のところ